



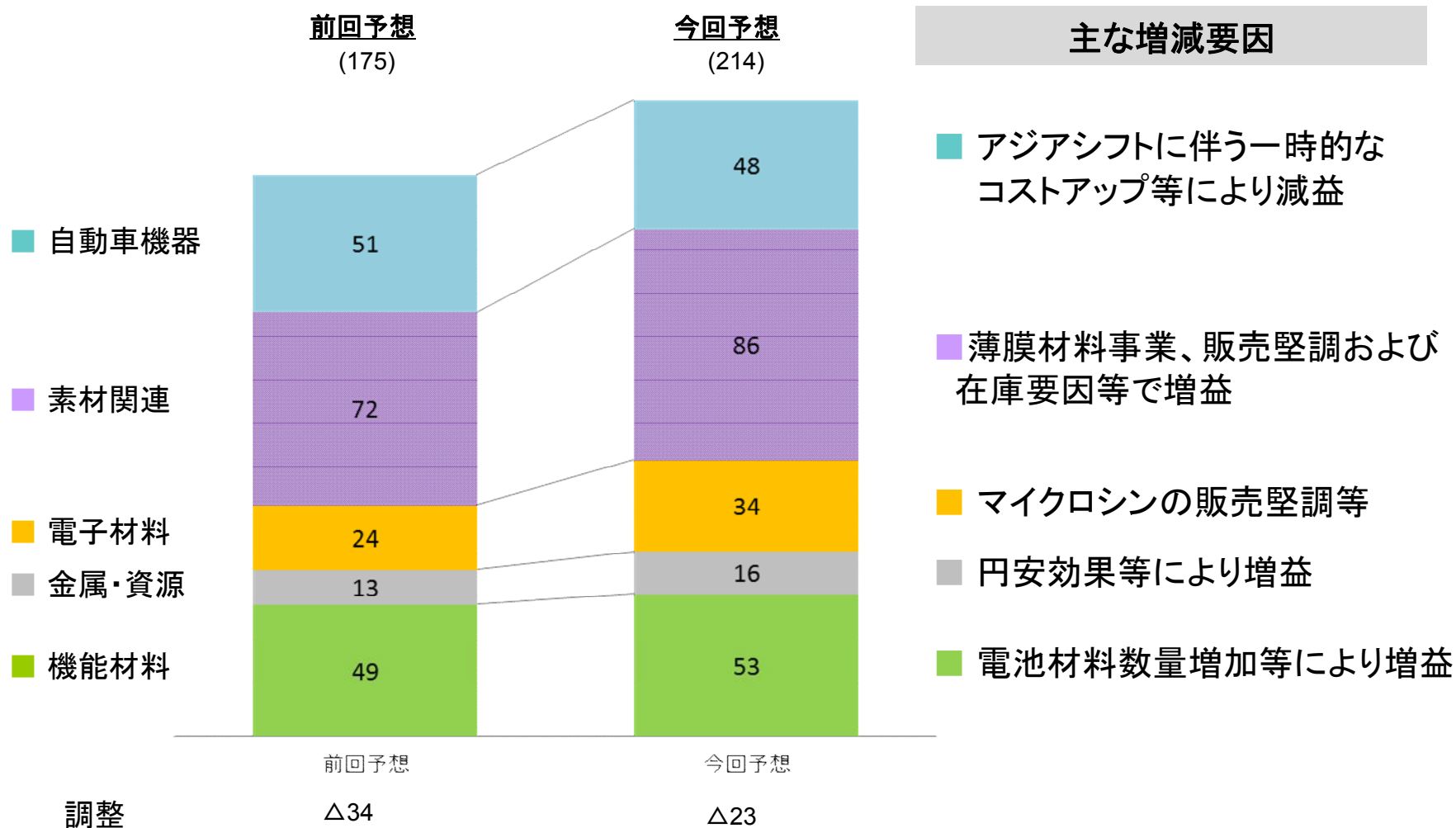
三井金属鉱業株式会社(5706)

2014年3月期
第2四半期決算説明会

2013年11月11日

セグメント別経常利益

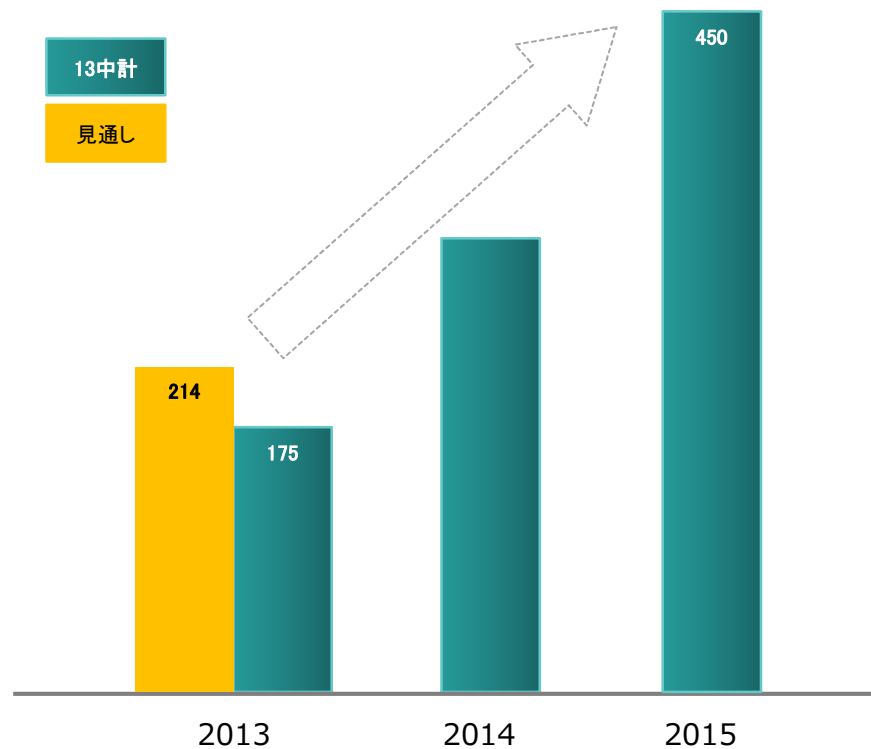
(対前回予想比、億円)



【 13中計 】 中計の道筋に大きな変化はない

経常損益 (13年度見通しおよび13中計)

(単位:億円)



下振れ要素もあるが
トータルでは目標利益達成可能

資源

- ・ カセロネス投資額増加も収益性に大きな影響なし

触媒

- ・ 中国は弱いものの、ASEANの二輪需要増加、環境規制強化の流れは変わらない

電池

- ・ MH合金販売堅調
- ・ LMO出荷数量漸増

リサイクル

- ・ 上期溶融キルン処理量は計画未達だが下期は計画並み

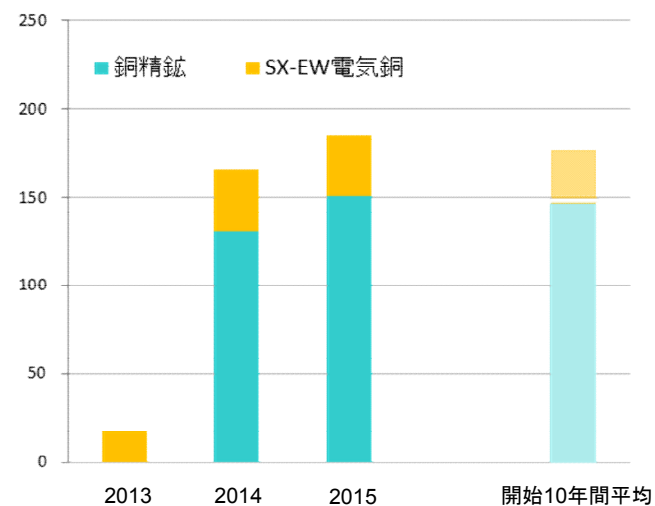
【資源】

- カセロネスは初期投資額増加も、2015年の利益計画に大きな影響なし

カセロネスプロジェクト (2013年10月11日公表内容)

- 初期投資額 42億ドル
- 銅精鉱生産開始 2014年1月

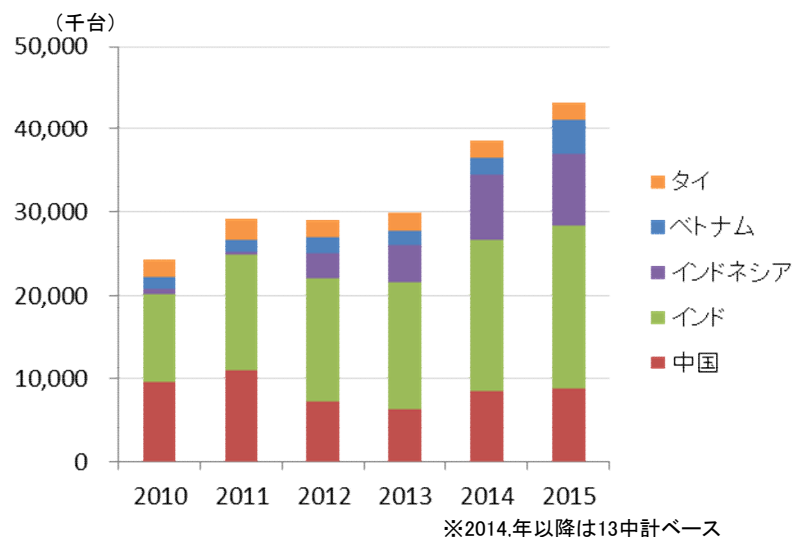
カセロネス生産量 (千t/年)



【 触媒 】

- ・ 2013年度は、中国における触媒搭載車の販売が伸びず数量は頭打ち
- ・ ASEAN各国の二輪車の伸びおよび環境規制強化の大きな流れは変わらない

アジア主要国における触媒搭載二輪車市場予測



主要国の二輪車排ガス規制の動向

| 国・地域 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 |
|--------|------|------|-------------|--------------|------|--------------|------|
| 中国 | 国3 | | 国4 (検討中) | | | 国5 (検討中) | |
| インド | BS3 | | | BS4 (検討中) | | | |
| インドネシア | EU2 | EU3 | | | | | |
| タイ | EU3 | | | | | EU5 (検討中) | |
| ベトナム | EU2 | | | | | EU3 (検討中) | |
| ブラジル | EU3 | | | | EU4 | | |

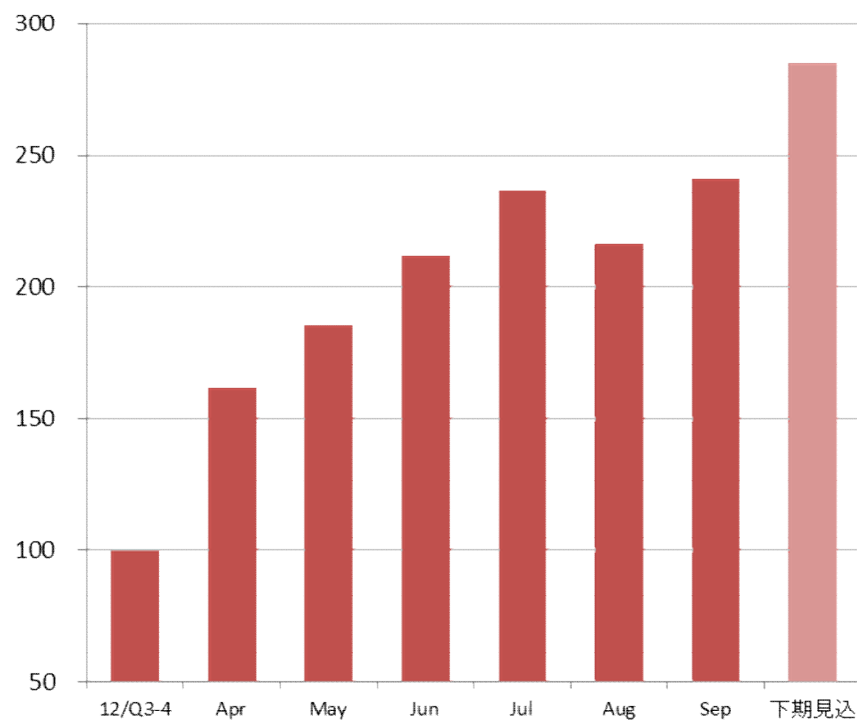
新工場操業開始予定

| | 2013年 | 2014年 | 2015年 |
|--|--------------|-------|--------------|
| ベトナム Mitsui Kinzoku Catalysts Vietnam | 建設 → 7月 操業開始 | | |
| U.S. Mitsui Kinzoku Catalysts America | | | 建設 → 7月 操業開始 |

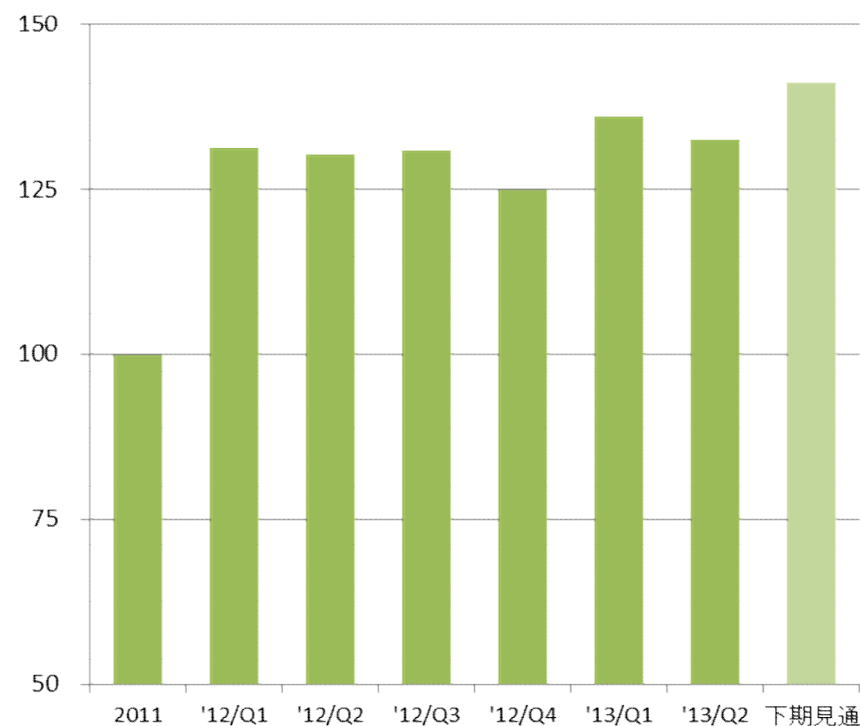
【電池材料】

- ・ LMOは徐々に販売量を伸ばしており、下期も漸増を見込む
- ・ MH合金は好調なハイブリッド車需要により、かなり高い稼働率を維持している

LMO販売数量 (12/Q3-4を100としたときの指数)



MH合金販売数量 (2011年度を100としたときの指数)



【リサイクル】

- ・ 今年度処理計画 12,000トンは、上期の不調により見込めないものの、下期は原計画通り操業できる見込み
- ・ 今後原料集荷体制を整え、2015年度のフル操業を目指す



【自動車機器】

- ・ 上期は、アジアシフトの対応遅れから目標収益未達となった
- ・ 下期には上期の問題解決のうえ、市場環境も改善することから、40億円レベルの収益を確保できる見込み

新工場操業開始予定

| | 2013年 | 2014年 | 2015年 |
|---|-------------|-------|--------------------|
| メキシコ Mitsui Kinzoku ACT Mexicana | 建設 → 7月 | 操業開始 | |
| インドネシア Mitsui Kinzoku ACT Indonesia | 第1期建設 → 12月 | 操業開始 | 第2期建設 → 1月 操業開始 |

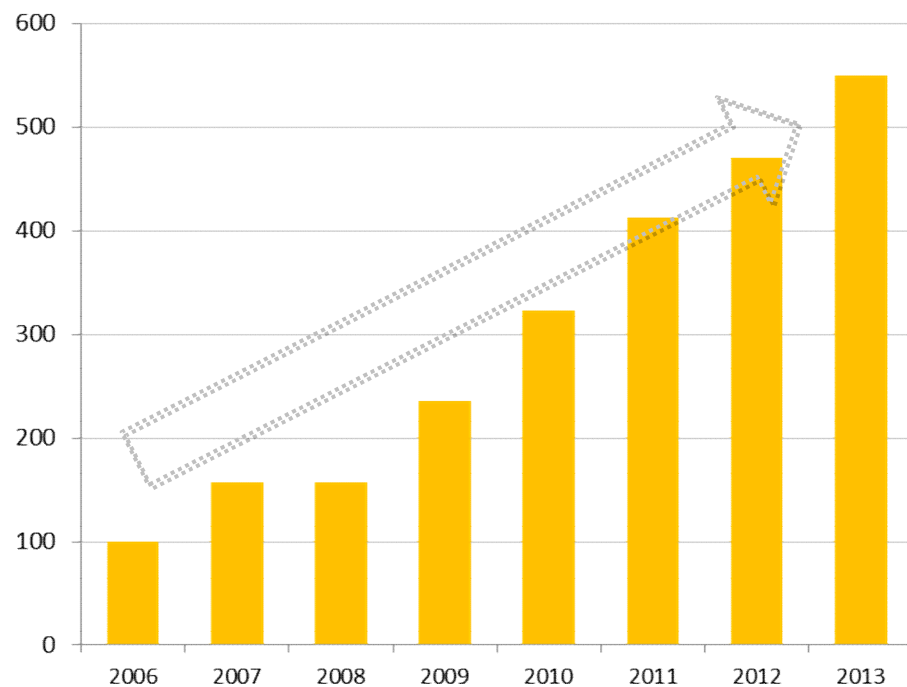


Mitsui Kinzoku ACT Mexicana

【銅箔】

- ・ マイクロシン販売堅調。来年度以降の需要増に対応するため、設備増強中
- ・ 一部高機能銅箔のアジアシフトは計画通り完了。今後は歩留まりの改善により収益の改善を目指す

Micro Thin 販売量 (2006年を100とした指数)



2014年4月に上尾のキャパを増強
100万㎡/月 → 140万㎡/月 体制確立

アジア拠点は・・・

- ・ 一部高機能銅箔を日本からシフトしたことにより収益は改善している
- ・ 高機能銅箔のシフトは完了
- ・ 今後は歩留まりの改善等により来年度からの黒字化を目指す

将来の見通しに関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、様々な既存のリスク、未知のリスク、不確定要因等を伴っているため、実際の事業環境・事業活動は、これらによる影響を受けることとなります。したがって、将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容が、実際に生じる結果と大きく異なる可能性もあります。

本資料は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価等の情報が正確である、または将来その通りになるということを、当社が保証したものではありません。

将来の見通しに影響を与えうる潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、潜在的リスクや不確定要因がその項目ですべて網羅されている訳ではありませんので、その旨ご注意ください。

本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成しており、当社の株式の購入・売却など、株式等の投資を勧誘することを目的としたものではありません。したがって、皆様が実際に投資なさる際には、本情報に全面的に依拠して判断を下すのではなく、あくまでご自身で投資の可否をご判断くださいますよう、お願いいたします。